

普通救命講習&残暑を乗り切るエスニック・ランチ会 (無料 OP) 水道歴史館見学 秋の観光シーズンにむけ危機管理！

2026 年 9 月 4 日（金）JGA 第 1 支部研修報告



第 1 支部研修報告です。暑さが少し緩んだ 9/4（金）「普通救命講習&残暑を乗り切るエスニック・ランチ会（無料 OP）水道歴史館見学 秋の観光シーズンにむけ危機管理！」が開催されました。秋繁忙期を控え全国通訳案内士として必須の危機管理に備えるために企画され、9 時から東京消防庁神田消防署の三崎町出張所 4 階防災教室に定員いっぱいの 20 名（正会員 19、非会員 1）が集まりました。普通救命講習では、10 体の救命講習用の人形が床に並べられた会場で、全員にテキスト、マウスピースが配布され、主として成人に対して必要な応急手当の方法を講義及び訓練技能の計 3 時間で習得、全員に 3 年間有効の「救命技能認定証」が授与されました。

3 時間の中味は非常に濃く、心肺蘇生の為の胸骨圧迫や人工呼吸の実習、また小児・乳児の救命についても乳児の人形を使った実演がなされました。また胸毛の濃い人に AED のパッドを貼る場合は、パッドが浮いてしまうため、脇の下近くに貼るか、メーカーによっては剃刀や脱毛シールが付随されている場合もあること、気道異物除去のための腹部突き上げ法は乳児や妊婦だけでなく高度な肥満者に対しても、やってはいけない等、インバウンドの観光に従事する全国通訳案内士にとって有益なことを教えて頂きました。繰り返し技能訓練をしたことで非常時の大変さが体得でき自信が付きました。マウスピースはどこで入手できるか？等沢山の質問が出ました。

消防署を後に徒歩で移動、全員でエスニック・ランチを頂きながら、しばしの交流をしました。ダイニング・バーの SAPANA では 4 種各セットから各人が当日選択、大変美味しかったと好評でした。同店はハラル対応も可能な店としても貴重な情報になりました。

ランチ後オプション研修として、15 名で東京都水道歴史館へ。1 時間ほどアテンダント・スタッフさんに館内ツアーをして頂きました。江戸時代、参勤交代頃からの人口増加により深刻になった江戸での水不足を上水工事が解決していったこと等、木樋をはじめとする実物資料を見ながら学び、第二次大戦中の水制限等、近現代に至るまでの東京の水について改めて学ぶ良い機会になりました。14:30 頃全ての研修を終え、①普通救命講習で認定証を取得②ランチ会でガイド同士の交流③東京の水道の歴史を学ぶ、という 1 日で 3 回美味しいお得な 1 日を過ごしました。



第 1 支部研修担当